

多治見市陶磁器意匠研究所

## 公開特別講義 vol.25

平成30年度 第1回

## 榎本 徹

岐阜県現代陶芸美術館 顧問

「陶芸家になる  
ということ」

## 榎本 徹 プロフィール

1946年(昭和21年)7月30日 神奈川県横須賀市生まれ  
 1965年3月 横須賀市立工業高校 工業化学科 卒業  
 1973年3月 東京教育大学 芸術学科 卒業  
 1978年3月 東京教育大学大学院 芸術学研究所修士課程 修了  
 1979年4月 山口県立美術館 学芸員  
 1996年4月 山口県立美術館 副館長  
 2002年3月 山口県立美術館 退職  
 2002年4月 岐阜県現代陶芸美術館 館長  
 2016年4月 岐阜県現代陶芸美術館 顧問

主な『著書』・『論文』  
 『陶芸・鯉江良二』(共著・『NHK工芸探訪』第4巻)日本放送協会 1990年  
 『山口県の美術』(編集・工芸編執筆) 思文閣出版 1995年  
 『文献に見る初期萩焼』『Museum』471号 東京国立博物館 1990年  
 『茶陶の極北・三輪休雪の陶芸』『炎芸術』57号 阿部出版 1999年  
 『萩焼茶碗スタイルの変遷』『茶の湯の名碗展図録』茶道資料館 1999年  
 『陶のシルクロード・加藤卓男の陶芸』『炎芸術』85号 阿部出版 2006年

主な担当展覧会(図録執筆をとまなうもの)  
 『古萩・その源流と周辺展』1981年  
 『三輪休雪展』1982年  
 『現代の陶芸展シリーズ』1・2・3 1982・1984・1986年  
 『中国陶磁2000年の流れ展』1985年  
 『戦後写真史シリーズ』1・2・3 1989・1990・1991年  
 『はぎやき・破格と前衛の造形展』1995年 以上いずれも山口県立美術館  
 『萩焼400年・伝統と革新展』2000年 パリ・日本文化会館、サントリー美術館など  
 『川喜田半泥子のすべて展』2009年 岐阜県現代陶芸美術館など  
 『大織部展』2014年 岐阜県現代陶芸美術館  
 『川喜田半泥子物語展』2014年 愛知県陶磁美術館など

主な展覧会審査歴  
 日本伝統工芸展、日本陶芸展、西日本陶芸展、国際陶磁器展美濃、台湾国際陶芸展、  
 神戸ビエンナーレ現代陶芸展、文化庁・芸術選奨選考委員、山口県・広島県・三重県  
 各美術展覧会など

5/18

Fri.

13:30-15:00

聴講無料  
どなたでも参加OK

場所：多治見市陶磁器意匠研究所  
 研修棟I講義室

多治見市陶磁器意匠研究所では、研究生向けの授業で  
 ある特別講義を、広く市民の皆様へ公開しています。

今年度第1回は、岐阜県現代陶芸美術館顧問 榎本徹先生  
 による公開特別講義を開催します。

参加をご希望の方は、下記の問い合わせ先に人数をお知らせ下さい。  
 当日、直接の参加も可能です。

## ●お問い合わせ

多治見市陶磁器意匠研究所 人財育成・デザイン支援グループ

〒507-0803 岐阜県多治見市美坂町2-77 TEL: 0572-22-4731 FAX: 0572-25-0983

E-mail: ishoken-jinzai@city.tajimi.lg.jp

URL: <http://www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/index.html>